

年次	東京灣	東京灣ヨリ瀬戸内ヲ通過シテ長崎迄	長崎港	和泉灘及紀伊海峽	和泉灘及紀伊海峽ヨリ東京灣内迄	日本諸沿岸	合計
明治十八年	二	三	三	三	三	五	二二
同十七年	二	三	三	三	三	五	二二
同十六年	二	三	三	三	三	五	二二
同十五年	二	三	三	三	三	五	二二
同十四年	二	三	三	三	三	五	二二
同十三年	二	三	三	三	三	五	二二
同十二年	二	三	三	三	三	五	二二
同十一年	二	三	三	三	三	五	二二

水先免許人員ハ明治十八年十二月ニ於テ十七名アリ此内十五名ハ例規ニ據リ免狀ヲ書換下付シ又二名ハ新ニ免狀ヲ授與セリ而シテ本年中外國人ノ廢業セシ者及ビ死亡セシ者各一名アリ

本表ハ明治十九年六月始メテ調査セシモノニシテ今茲ニ掲グル所ハ六港ヨリ各地著名ノ港ニ到着スルモノ、ミナ記載ス其他ノ港ハ之ヲ省ク

第百四十九

水運賃錢

明治十九年六月調

港名	海里	船種	重量容量	一石十貫目	米(百石)	酒(大樽)	綿(大入綿)	白砂糖(大入)	榨滓(百斤)	銅鐵(百斤)	油(大樽)
駿河清水	五〇	蒸氣	二五〇	四〇	四〇	四	四	四	四	四	四

横濱	濱	ヨ	リ
尾張半田	伊勢四日市	攝津神戸	長門下ノ關
肥前長崎	薩摩鹿兒島	琉球那覇	伯耆境
越前敦賀	加賀金石	越中伏木	越後新瀉
羽後酒田	陸奥青森	渡島函館	後志小樽

船種	重量容量	一石十貫目	米(百石)	酒(大樽)	綿(大入綿)	白砂糖(大入)	榨滓(百斤)	銅鐵(百斤)	油(大樽)
日本形帆氣	二八〇	〇・二八	二〇〇〇	〇・三〇	〇・四〇	〇・二五	〇・八三	〇・〇九	〇・三〇
蒸氣帆氣	二八〇	〇・二八	二〇〇〇	〇・三〇	〇・四〇	〇・二五	〇・八三	〇・〇九	〇・三〇
蒸氣帆氣	二八〇	〇・二八	二〇〇〇	〇・三〇	〇・四〇	〇・二五	〇・八三	〇・〇九	〇・三〇
帆氣	二八〇	〇・二八	二〇〇〇	〇・三〇	〇・四〇	〇・二五	〇・八三	〇・〇九	〇・三〇

大 神 兵 長 新 千 三 愛 靜 宮 岩 青 福 石 廣 山 和 愛 高 福
 奈 川 庫 崎 瀨 葉 重 知 岡 城 手 森 井 川 島 口 山 媛 知 岡
 歌

二	-				-		-		-	-	-	-	-	二	-	-	-	-	二
-		二	三	二	-	-			-	-			-	-	-	-	-	-	
							-		-		-	二		-		三	-	-	-
-												二	-	-		-	-	-	
四	-	二	三	二		二	-	二		二	三		三	二	-	五	三	一	三
二		-		-		-		-		-		-	-	-	-	-	-	-	二
-	-		-	-								-	-	-	-	-	-	-	三
-		-	二		-	-	-	-	-	三		-	-	-	-	-	-	-	-
												三	-	二	-	-	-	-	-
三	-	二	二	二		二	-	-	-	三		二	二	-	-	-	-	-	二
-		-										二							
九		四	二	六		三	二	三		三	九		四	七	二	二	八	一	二
二		-		五							-	-	-	-	-	二	三	-	-
				三	-		-								二	-	-	-	-

東 府 京 縣	木造 石造 煉化石造 鐵造 合計	諸燈及諸標府縣別	自水面至燈火 光達距離 以二十哩以上	守燈人員	浮標 礁標	揭少	表中海里及ビ運賃ニ計數ノ疑フベキモノアリト雖モ原材料ノ記スル所ニ據テ姑ク之ヲ	函 館	越前敦賀	越中伏木	越後新潟	同 直江津	羽後土崎	同 酒田	港 名							
							海 里	四三 四	三三 七	二四 七												
							船 種	日本形帆氣														
							重 量	八〇〇 五六〇	七二〇 五〇四	六〇〇 四二〇												
							容 量	五六〇 三六〇	七二〇 五〇四	六〇〇 四二〇												
							一石十貫目	七二〇 五〇四	六三〇 四二七	五五〇 三八五												
							米(百石)	一八〇 一三五	一五八 一〇九	一三八 〇七九												
							酒(大樽)	〇八〇 〇五六														
							綿(大入)															
							白砂糖(樽)															
榨滓(百貫)																						
銅鐵(百斤)																						
油(大樽)																						

明治十八年十二月三十一日現數